



# 交通安全情報



事故にあわない、おこさない

H31.3.6

## 平成30年中の全国の交通死亡事故

### 交通死亡事故の特徴

○ 全死者数（3,532人）の約半数が歩行中又は自転車乗用中の被害であり、そのうち約7割が高齢者である。

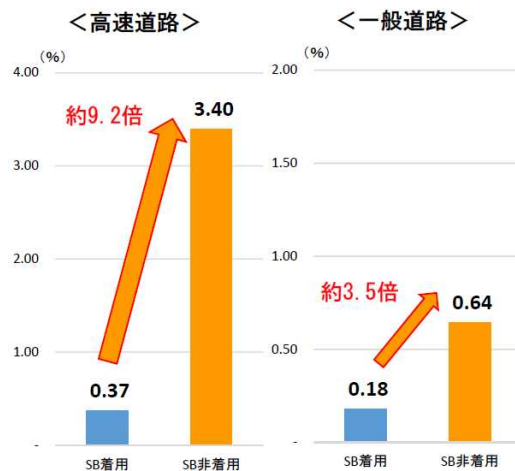
### 交通死亡事故の分析結果

- 飲酒運転は「飲酒なし」と比べて死亡事故の発生率が約8倍である。
- シートベルト非着用時の致死率は着用時と比べて高速道路では約9倍、一般道では約3.5倍である。
- 「ながらスマホ」などの携帯電話使用等による死亡事故率は「使用なし」と比べて約2倍である。
- 事故直前の速度が40km/hを超えると死亡事故率が増加する。

飲酒時における死亡事故率比較



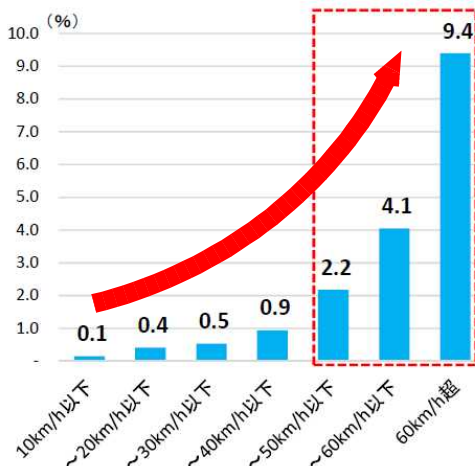
シートベルト着用・非着用別の致死率比較



携帯電話使用時等における死亡事故率比較



危険認知速度別死亡事故率



### 歩行者の皆さんへ

- しっかりと左右の安全確認をしましょう。
- 通過車両の直前直後の横断はやめましょう。
- 暗くなったら反射材を着用しましょう。
- 一時停止などの交通ルールを守りましょう。

### 運転者の皆さんへ

- 常に歩行者や自転車の有無を確認しましょう。
- しっかりと前を見て運転しましょう。
- 同乗者の後部座席シートベルトとチャイルドシートの着用を徹底しましょう。
- 余裕を持った運転を心掛け、安全な速度で運転しましょう。